

## ■ 2025 年度事業の方針

- (方針 1) 「市民活動を支援する事業を行う」
- (方針 2) 「会員の提案を事業の形にしていく」
- (方針 3) 「市民活動支援のしくみづくりを行う」
- (方針 4) 「低コストで運営を行う」
- (方針 5) 「認定 N P O 法人制度を積極的に活用する」

## ■ 2025 年度所信

夏の異常な暑さが常態化して当たり前になり、生態系への影響はますます大きくなり、人の営みも大きく変わり始めているように感じます。地球温暖化は後戻りができないところに来ており、日本から四季がなくなるのではないかとの懸念ももたれるほどです。

一方、世界の政治情勢を見てみると、アメリカのトランプ大統領が就任して半年。理不尽な関税政策に振回され、同盟国の日本も例外ではありません。何度も交渉を続け、今のところ 15%に落ち着きました。が、今後も予断を許せません。また、トランプ政権が対外援助や国連機関への拠出金を大幅に削減したことで、世界各地の人道支援の現場は、深刻な事態に陥っています。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻も続いており、イスラエルとハマスの停戦合意もなかなか実現せず、世界情勢は混沌としています。

今後ますます、市民一人一人の力が問われている時代であり、「個人の自由な社会貢献活動」が「多様」そして「持続的」に行われることにより、社会のさまざまな課題を解決していくことが急務となってきました。

私たちが、これまで取り組んできた「市民活動の応援」を進め、「市民活動応援☆きらきら基金」をより充実させていくことで、市民活動団体間の「資金・資源」の循環を増やし、企業や他地域からの新たな資源の流入をつくりだしていきたいと思えます。これらの取り組みにより、「新たな可能性」「新たな価値観」「新たなサービス」が生み出され、この地域での課題解決になることを願っています。

つきましては、皆様の一層のご理解、ご参画、ご協力を心よりお願い申し上げます。

## 2025 年度事業計画書

前述の事業の方針ならびに所信にもとづき、以下のように事業を進めていきます。

### 1. 主として、まちの課題の発見と解決に向かって行う事業

－(1) まちのさまざまな課題の調査研究事業

－(2) その解決のための事業

1-(1)-1 地域課題の発見と解決を意識した各種団体・講座等への参加

1-(2)-1 三重県および全国規模の市民活動支援の活動への参画

1-(2)-2 桑員地域の市民活動支援組織の連携

1-(2)-3 桑員地域の企業の社会貢献活動と市民活動との連携を強める

### 2. 主として市民活動団体に対して行う事業

－(3) まちのさまざまな課題を解決しようとしている市民活動の調査研究事業

－(4) その市民活動への応援事業

2-(3)-1 桑名員外地域の市民活動団体の訪問取材調査

2-(3)-2 市町村の市民活動センター等の交流会等への参加

2-(4)-1 桑名市市民活動センターの管理運営業務受託

2-(4)-2 とういん市民活動支援センターの管理運営業務受託

2-(4)-3 各種講座への講師派遣

2-(4)-4 前掲以外の市民活動への支援

2-(4)-5 「市民活動応援☆きらきら基金」の運営と助成

2-(4)-6 「桑員まちのファンクラブ」への支援

### 3. 主として、不特定多数の市民に向かって行う事業

－(5) その市民活動を行いやすい環境の調査研究事業

－(6) その市民活動を行いやすい環境づくり事業

3-(6)-1 「まちのかわらばん」の発信

3-(6)-2 インターネットメディア等による市民活動団体情報の提供等